

真に「創造的」な知財・契約実務の提案と実践

創造的な知財戦略は、フロントランナーとしての必要条件

知財を取り巻く環境の変化と配慮すべき事項

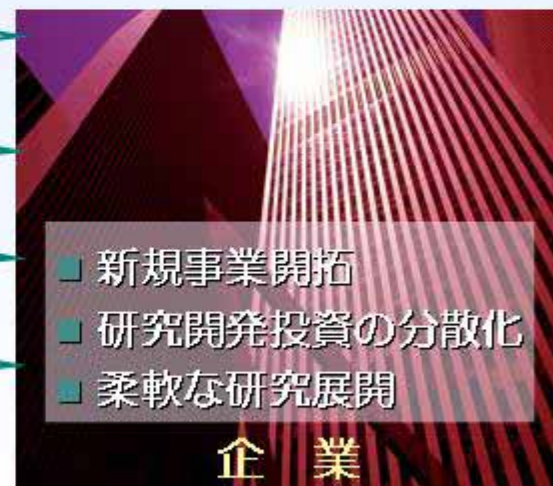
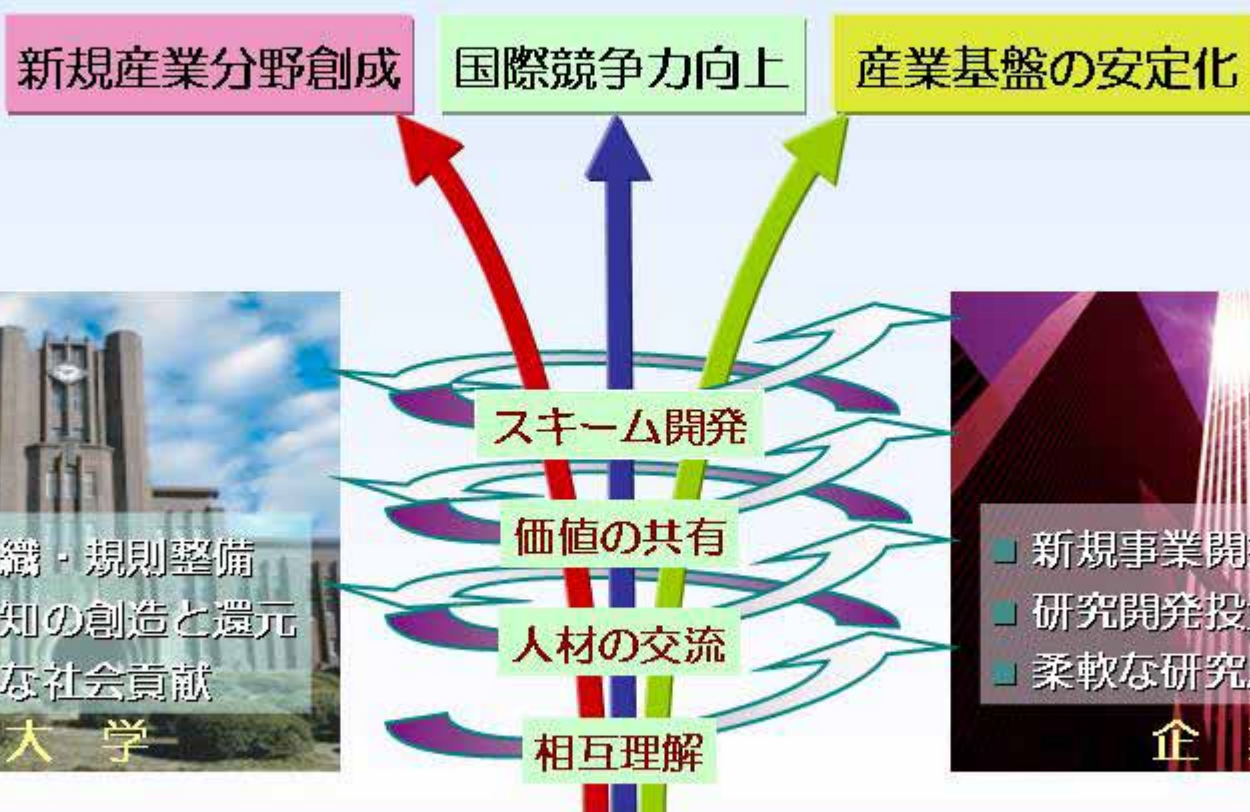
- ・ 無防備に論文を出す時代ではない
- ・ 最先端研究成果の多様化と短命化
- ・ 教育(学生)と納税者などへの配慮
- ・ 法律やマニュアルの想定外処理の増加
- ・ 無意味に特許を出す時代でもない
- ・ 知財戦略の多様化とグローバル化
- ・ CSRやコンプライアンスへの配慮
- ・ 不明朗な資産管理・税金問題

新しい時代の知財戦略

- ・ 禁則型契約実務からの脱却
- ・ 知識集約型から知能集約型の知財戦略へ
- ・ 直面する諸問題や新展開に対し、適戦略を自ら創出する知財・契約実務
- ・ 不安強調からバランス重視の知財戦略へ
- ・ 価値を創造する知財戦略へ

問題解決能力をもった知財戦略＝創造的知財戦略

真のフロントランナーたる知的生産構造の実現



大学と企業の間で構造安定な知財の活用フローの実現

社会からの成熟した評価(CSR&USR)